

## 第4期室蘭市役所エコオフィスプラン 令和2年度実績について

市では、事業者・消費者として環境への負荷低減に率先して行動するため策定した「室蘭市エコオフィスプラン」の中で二酸化炭素排出量の削減目標を定め、省エネや省資源に取り組んでいます。R2年度の市役所全施設の事務・事業活動に伴う二酸化炭素排出量は次のとおりです。

### 1. 二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) 排出量

単位：t-CO<sub>2</sub>

項目	H27年度 (基準年度)	R2年度	増減量 <対基準年度比>	目標 <対基準年度比>
二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> ) 排出量	31,936	30,689	▲1,247 <▲3.9%>	R2年度 <▲5%>

R2年度は省エネガイドラインに基づく道路照明のLED化や全庁的な節電・節暖の継続的な実施に取り組みましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止を目的に実施した換気対策により公共施設や学校等における燃料使用量が増加し、二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) 排出量は基準年度と比較して1,247-t-CO<sub>2</sub> 減少 (3.9%減) にとどまり、目標値を下回る結果となりました。

#### 【主な施設の排出量増減】 基準年度(27年度)との比較

単位：t-CO<sub>2</sub>

施設	H27年度 (基準年度)	R2年度	対基準年度増減量	CO <sub>2</sub> 排出量の 主なエネルギー種
本庁舎及び広域センタービル	550	641	91	電気
ロードヒーティング	3,102	4,453	1,351	電気
蘭東下水処理場	2,823	2,472	▲351	電気
市立病院 (本院)	5,688	4,873	▲815	重油・電気
入江温水プール	1,056	807	▲249	電気・都市ガス

- 本庁舎及び広域センタービルでは、基準年度より気温が低かったほか、換気対策による室温低下による暖房の燃料使用量が増えたことなどにより、91t-CO<sub>2</sub>増加。
- ロードヒーティングは、基準年度より気温が低く、稼働時間が多くなり、1,351t-CO<sub>2</sub>増加。
- 蘭東下水処理場は、施設改修に伴い下水汚泥の一部の曝気が不要となり、エアレーションタンクへの空気送付に係る電気使用量が減り、351t-CO<sub>2</sub>減少。
- 市立病院は、継続的に照明のLED化を推進したほか、BEMS (ビルエネルギー管理システム) の導入により、自家発電の効率化が図られ、重油使用量が削減されたことにより、815t-CO<sub>2</sub>減少。
- 入江温水プールは、H28年12月からエネファームを導入したことにより、電力使用量が抑制され、249t-CO<sub>2</sub>減少。

### 2. 今後の取組について

- 令和3年6月に策定した「第5期室蘭市役所エコオフィスプラン」に基づき、全庁的な省エネ・省資源化を推進するとともに、施設設備の省エネ対策等を実施するなど、目標達成に向けた取組を進めていきます。
- CO<sub>2</sub>排出量のエネルギー別構成比は、電気使用に伴う排出が約73%と大きいことから、全庁的な節電に取り組むほか、省エネ対策ガイドラインに基づく道路照明等の省エネ化を引き続き実施していきます。



未来のために、いま選ぼう。

「COOL CHOICE」とは、低炭素社会実現のため日本が世界に誇る省エネ・低炭素型製品・サービス、行動など、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」を促す国民運動です。身近な生活の中で、未来のために今選択できるアクションを選ぶ。室蘭市は「COOL CHOICE」に賛同しています。